

平成 31 年 度

東京大学大学院情報理工学系研究科
コンピュータ科学専攻
(平成 30 年 9 月入学・平成 31 年 4 月入学)

修 士 課 程

入 試 案 内 書

博 士 課 程

問い合わせ先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院情報理工学系研究科
コンピュータ科学専攻事務室

EMAIL: admissions@is.s.u-tokyo.ac.jp

TEL: 03-5841-4111

入試案内ウェブページ：

<http://www.i.u-tokyo.ac.jp/>

「受験・進学希望の方」に各専攻の入試案内へのリンクがあります。

注意：本冊子以外に、本研究科各募集要項についても必ず目を通すこと。

(i) 修 士 課 程

(1) 概要

- a. 本専攻には夏入試および冬入試がある。夏入試と冬入試とでは、日程と試験の実施方法が異なる。
- b. 本理学部情報科学科より進学するもの以外の志望者は、願書提出前に必ず第一志望教員に連絡をとること。
- c. 志望教員等を本案内書とじ込みの志望カード（修士課程用）に記入し、志望カード（修士課程用）に記載の要領で研究計画を作成して出願書類と一緒に提出のこと。志望教員の記入に際しては、本案内書とじ込みのコンピュータ科学専攻各教員研究室紹介に記載の教員から選択すること。

(2) 試験日程

(2.1) 夏入試

a. 一般教育科目

試験日・場所	試験時間	試験科目	備考
平成30年8月 20日(月) 工学部2号館 1階212講義室	10:00~12:30	数 学	

b. 専門科目

1) 筆記試験

試験日・場所	試験時間	専門科目	備考
平成30年8月 20日(月) 工学部2号館 1階212講義室	13:45~15:15	情報数学、数値計算、離散数学、 アルゴリズムと計算量、形式言語、 論理学、プログラミング言語論、 計算機アーキテクチャ、 オペレーティングシステム	3問程度出題する。全問を解答すること。 出題には、Java または C 言語を使用する 場合がある。
平成30年8月 20日(月) 工学部2号館 1階212講義室	15:45~17:15	上記科目に加え、機械学習、グラフィクス、 自然言語処理、バイオインフォマティクスを 出題範囲とする。	6問程度出題する。2問選択して解答すること。 出題には、Java または C 言語を使用する 場合がある。

2) 口述試験

平成30年8月21日(火) 14:00~18:00 理学部7号館102号室および202号室
控室：理学部7号館214号室（控室には13:45までに集合すること。）

(2.2) 冬入試

冬入試の提出書類、試験問題、解答は英語による。

詳細については本案内書の英語版を参照すること。これはウェブページ

http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/admission_e.shtml

にて入手可能である。

(ii) 博士課程

(1) 概要

- a. 本専攻には夏入試および冬入試がある。夏入試と冬入試とでは、日程と試験の実施方法が異なる。
- b. 本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻より進学するもの以外の志望者は、願書提出前に必ず志望教員に連絡をとり、研究計画を提示すること。
- d. 志望教員等を本案内書とじ込みの志望カード（博士課程用）に記入し、志望カード（博士課程用）に記載の要領により、「これまでの研究内容、主な論文・学会発表リスト、博士課程での研究計画」を作成して出願書類と一緒に提出のこと。志望教員の記入に際しては、本案内書とじ込みのコンピュータ科学専攻各教員研究室紹介に記載の教員から選択すること。
- c. 夏入試においては、本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は TOEFL スコアの提出を免除する。

(2) 試験日程

(2.1) 夏入試

A. 第1次試験

a. 一般教育科目

本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は免除する。

試験日・場所	試験時間	試験科目	備考
平成30年8月 20日(月) 工学部2号館 1階212講義室	10:00~12:30	数 学	

b. 専門科目

1) 筆記試験

本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は免除する。

試験日・場所	試験時間	専門科目	備考
平成 30 年 8 月 20 日(月) 工学部 2 号館 1 階 212 講義室	13:45~15:15	情報数学、数値計算、離散数学、 アルゴリズムと計算量、形式言 語、論理学、プログラミング言 語論、計算機アーキテクチャ、 オペレーティングシステム	3 問程度出題する。全 問を解答すること。 出題には、Java また は C 言語を使用する 場合がある。
平成 30 年 8 月 20 日(月) 工学部 2 号館 1 階 212 講義室	15:45~17:15	上記科目に加え、機械学習、グ ラフィクス、自然言語処理、バ イオインフォマティクスを出 題範囲とする。	6 問程度出題する。2 問選択して解答する こと。 出題には、Java また は C 言語を使用する 場合がある。

2) 口述試験

本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻より進学するものは免除する。

平成 30 年 8 月 21 日(火) 10:00~18:00 理学部 7 号館 102 号室および 202 号室

控室：理学部 7 号館 214 号室（控室には 9:45 までに集合すること。）

B. 第 2 次試験

修士の学位論文又はこれに代わるものについての論文提出と口頭発表による試験

- a. 平成 31 年 2 月 4 日(月) から 8 日(金) の間の別途指示がある時間に理学部 7 号館にて実施。
 - b. 修士課程での研究概要(9 分程度) および博士課程での研究計画(1 分程度) をプレゼンテーションすること。修士修了後研究成果がある者はそれを含めてよい。修士論文(日本語・英語以外でもよい) および関連する既発表論文がある場合は、コピー各 2 部を持参すること。プレゼンテーション用の PC は受験者が準備すること。
- 本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻より進学するものについての第 2 次試験は別途行う。
 - 既に修士課程を卒業しているもの、および 9 月入学を希望するものに対しては、第 1 次試験の口述試験時に第 2 次試験を行う。

(2.2) 冬入試

冬入試の提出書類、試験問題、解答は英語による。

詳細については本案内書の英語版を参照すること。これはウェブページ

http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/admission_e.shtml

にて入手可能である。

(iii) 博士課程 [社会人特別選抜]

(1) 概要

- a. 本専攻には夏入試および冬入試がある。夏入試と冬入試とでは、日程と試験の実施方法が異なる。
- b. すべての志望者は、願書提出前に必ず志望教員に連絡をとり、研究計画を提示すること。
- c. 志望教員等を本案内書とじ込みの志望カード（博士課程用）に記入し、志望カード（博士課程用）に記載の要領により、「これまでの研究内容、主な論文・学会発表リスト、博士課程での研究計画」を作成して出願書類と一緒に提出のこと。志望教員の記入に際しては、本案内書とじ込みのコンピュータ科学専攻各教員研究室紹介に記載の教員から選択すること。
- d. 夏入試・冬入試の両方においては、本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は TOEFL スコアの提出を免除する。

(2) 試験日程

(2.1) 夏入試

(ii) 博士課程 (2) 試験日程 (2.1) 夏入試 に同じ。

(2.2) 冬入試

冬入試の提出書類、試験問題、解答は英語による。(ただし本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は除く。)

詳細については本案内書の英語版を参照すること。これはウェブページ

http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/admission_e.shtml

にて入手可能である。

本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は上記の例外となり、口述試験のみを行う。詳細については本案内書の英語版を参照すること。

平成 31 (2019) 年度東京大学大学院情報理工学系研究科
コンピュータ科学専攻
修士課程・博士課程入学試験受験者注意事項

1. 試験日時

この案内書に記載の「試験日程」を参照すること。

2. 試験場

東京大学 本郷キャンパス (東京都文京区本郷 7-3-1)

地下鉄：丸の内線、大江戸線「本郷三丁目」、千代田線「根津」、南北線「東大前」、三田線「春日」
下車

バス：「東大正門前」、「東大構内」下車

この案内書に記載の「試験場所」を参照すること。

最終ページの試験場案内図を参照すること。

受験者は、試験開始 15 分前までに所定の試験室に入室すること。定刻に遅れた場合は、各試験監督者に申出ること。

3. 携行品

(1) 受験票

(2) 筆記用具 (鉛筆、シャープペンシル、万年筆又はボールペン、ただし、いずれも黒色に限る)、消しゴム、鉛筆削り (卓上式は不可)、時計 (計時機能だけのもの) を必ず持参すること。

注：試験時間中、携帯電話の電源は OFF とする。また身につけてはならない。

4. 試験時の留意事項

(1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室を許さない。

(2) 試験時間中の一時退室も原則としてできない。試験中気分が悪くなったりトイレに行きたくなったりしたときは申し出ること。

(3) 試験時間中、受験票を常に机の上に置くこと。

(4) 解答用紙ごとに受験番号を記入すること。氏名は書いてはならない。解答は、それぞれの所定の用紙に記入すること。不足の場合は、裏面に記入すること。

(5) 解答用紙・問題冊子は、持ち帰ってはならない。

(6) 筆記用具、鉛筆削り、消しゴム以外の用具は一切使用しないこと。

以上

【志望カード（修士課程用）】

東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻

課程別	修 士			
ふりがな 受験者氏名		※受験番号		
出身大学	大学			部 科
試験期間中 の連絡場所	E-mail TEL			
志望教員 (冬入試は 第1志望のみ)	第1 志望	教員	第3 志望	教員
	第2 志望	教員	第4 志望	教員
平成30年9月入学を希望する場合は右を○で囲むこと。		9月入学		
推薦書を同封してある場合は右を○で囲むこと。		推薦書同封		
(冬入試には推薦書の同封が必要です。)				
研究計画として、志望分野、大学院に進学してからの研究の抱負についてまとめ、下記の例の様式に従い作成し、入学願書に同封すること。夏入試の場合はA4用紙1ページに日本語または英語で書くこと。冬入試の場合はA4用紙3ページに、(特筆すべき実績があればそれを含めて)英語で書くこと。				
<p>研究計画</p> <p>氏名：○○ ○○</p> <p>コンピュータの進化は新しい情報処理を可能にしている。しかし～においては～という課題が残されている。そこで私は修士課程に進学し、以下の観点からこの課題に取り組みたい。</p> <p>(1)・・・</p> <p>(冬入試の場合、特筆すべき実績があればあわせて記すこと)</p> <p>特筆すべき実績： ...</p>				

- ◆ この用紙を願書と一緒に提出すること。
- ◆ ※欄は記入しないこと。

【志望カード（博士課程用）】

東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻

課程別	博 士		
ふりがな 受験者氏名		※受験番号	
出身大学 および 出身大学院	大学大学院	大学 研究科	学部 学科 専攻
試験期間中 の連絡場所		E-mail TEL	
志望教員			教員

社会人特別選抜での受験を希望する場合は右を○で囲むこと。 社会人
平成 30 年 9 月入学を希望する場合は右を○で囲むこと。 9 月入学
推薦書を同封してある場合は右を○で囲むこと。 推薦書同封
(冬入試には推薦書の同封が必要です。)

これまでの研究内容（必要に応じて図などを用いわかりやすく説明すること）、主な論文・学会発表リスト、博士課程での研究計画を、下記の例の様式に従い、A4 用紙 4 ページで作成し、入学願書に同封すること。夏入試の場合は日本語または英語で、冬入試の場合は英語で書くこと。

氏名：計算 機子

1. これまでの研究内容

1.1 連立一次方程式の高速アルゴリズム[1]

本研究では科学技術シミュレーションで解く必要のある大規模な連立一次方程式を…

1.2 在職中の主な業績

(社会人特別選抜での受験者は、情報理工学系研究科学生募集要項の 6. 提出書類等にある「業績等の概要」として、在職中の主な業績について項目ごとに簡潔にまとめること)

2. 主な論文・学会発表リスト

[1] 計算 機子、「連立一次方程式の高速アルゴリズム」、修士論文、東京大学大学院情報理工学系研究科 (2011)

[2] 計算 機子、指導 教子、「連立一次方程式の高速アルゴリズム」、某学会 2011 年度年会、予稿集 pp. 101-102、2011.

…

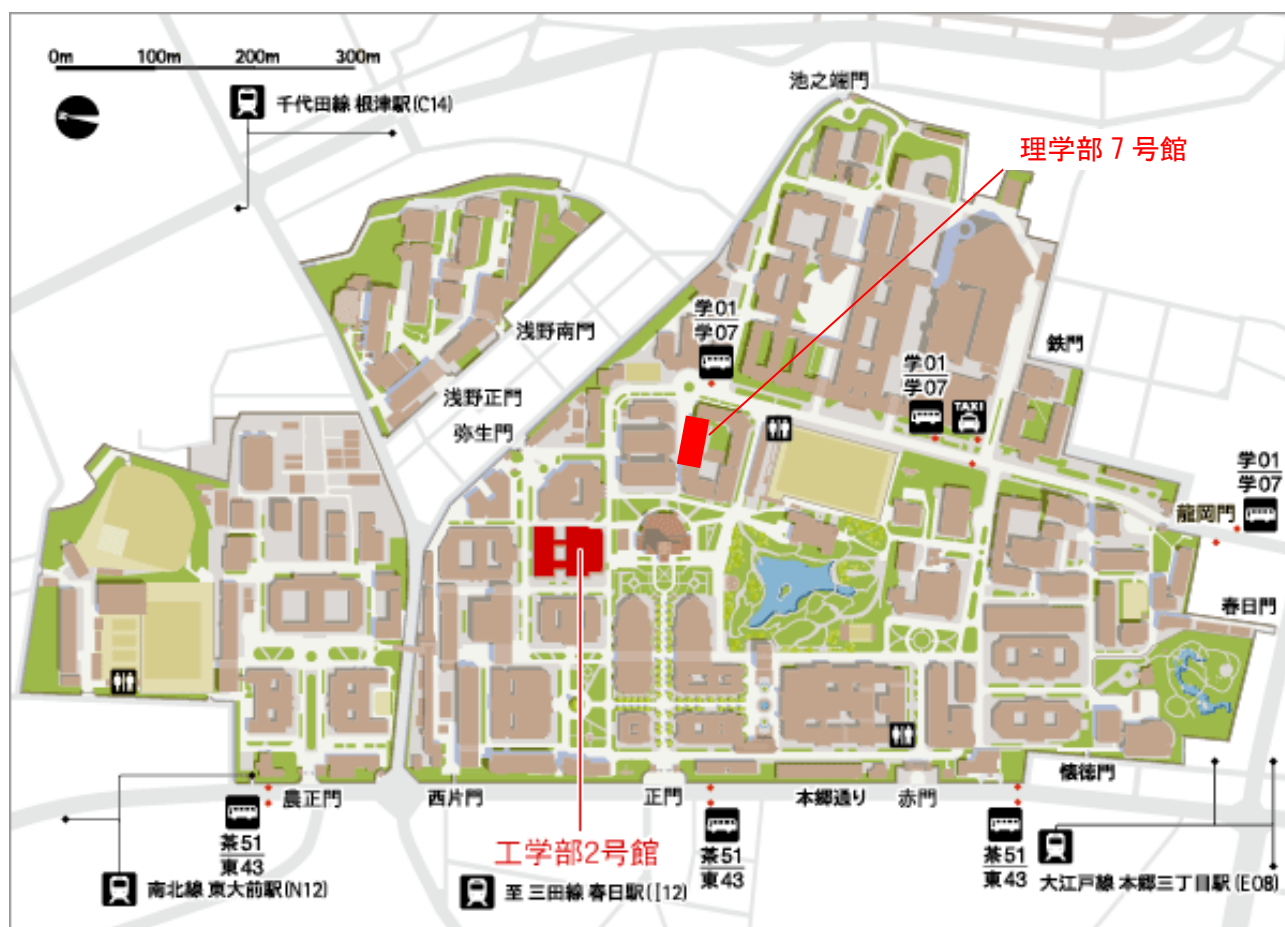
3. 博士課程での研究計画

博士課程においてはさらに大規模な連立一次方程式を高速に解くため…

- ◆ この用紙を願書と一緒に提出すること。
- ◆ ※欄は記入しないこと。

東京大学（東京都文京区本郷 7-3-1）試験場案内図

情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻



地下鉄：丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」、千代田線「根津」、
南北線「東大前」、三田線「春日」下車
バス：「東大正門前」、「東大構内」下車